

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

<本年度の学力向上基本方針>

学校教育目標「豊かな子 たくましい子 かしこい子」

- 「よい授業」を目指した授業改善
- 学力・学習状況調査（国・市）等の調査結果の活用
- 少人数指導の充実
- 学習規律の定着
- 家庭学習の取組の充実

<本年度の学力向上策>

本校は平成28・29年度さいたま市教育委員会委嘱「基礎学力向上」の研究指定を受け、算数・国語を中心に実践研究を進めてきた。その成果と課題を受け、平成30年度は国語科に窓口を絞り、研究主題を「自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成の充実 ～基礎・基本の定着を図り、表現力を高める指導の工夫～」と設定した。

上記の学校教育目標及び経営方針や研究主題の実現を図るために、以下のような取組を行っていく。

- 授業改善
 - ・問題解決型学習（付きたい力を明確にした学習計画の作成）
 - ・既習内容を生かした解決への手立て（モデルの活用、自力解決、練り上げ）
 - ・振り返り（自分の言葉でまとめる、身に付いた力の確認）
 - ・「よい授業」分析シートの活用による4つの因子の向上
 - ・学校共通の授業規律の整備
 - ・研究授業の実践
- 家庭との連携
 - ・「家庭学習の手引き（低・中・高）」作成と「目指せ！家庭学習の名人」の取組
- その他
 - ・各取組の家庭への周知（学校だより、学年だより、保護者会等）

<本年度の振り返り>

学校課題研修「国語力向上」にともない、国語科を中心に上記の内容に取り組むことができた。学習計画を児童とともに作成し身に付きたい力を意識させたり、一人学びの時間を確保してからグループや全体での話し合いを行ったりすることで、児童一人ひとりが主体的に学習に取り組むことができた。しかし、話し合い等の活動では児童によって深まりに差があることが課題となった。

そこで、来年度も本年度の課題解決に向けて上記の取組を継続し、家庭や地域と連携することでさらなる学力向上に努めていく。